

福中南

岡山市立福南中学校通信 発行：校長 小野 大

沖縄に学習の場を求めて～さらに成長した3年生！

Vol.1

4月22日(月)から2泊3日で、沖縄へ修学旅行に行ってきました。心配していた天気は移動時に少しパラパラとしたぐらいで天気に恵まれました。3日間それぞれのテーマをもった内容の濃い修学旅行でした。1日目はがっとり平和学習、2日目は基地問題と琉球文化を肌で体験する伊江島での民泊体験、3日目はお楽しみタイムでした。

今年度は神戸空港から沖縄に向かったのですが神戸空港では航空会社のスカイマークから温かいサプライズを受けました。搭乗時に見えるようにワゴン車に横断幕をつけて修学旅行に向



かう気持ちを盛り上げてくれました。

1日目 平和学習



ヘルメットをつけて、懐中電灯を持って、足元に気をつけて、手の中に入れて進みます。

那覇空港に着いてからは、見学場所の関係から、A・C組とB・D組の2グループに分かれて活動しました。

洞窟を戦時中や病院にした糸数壕の見学。戦時中には、多くの方がこの壕(ガマ)の中で亡くなりました。大変大きな洞窟で、40分ほどかけて、スタッフの方の説明を聞きながら壕の見学をしました。中は灯りがないので、それぞれ手に懐中電灯を持って見学しました。途中、数分でしたが、全ての灯りを消して真っ暗な暗闇の中で当時の人の雰囲気を感じました。

平和祈念資料館では、学年全体が合流して、沖縄戦体験者の新里さんから、講話をして頂きました。沖縄戦自体の悲惨さや命の大切さと合わせて、戦後に日本とアメリカを橋渡しをしたことの新里さんなども熱を込めて話してくださいました。講話後、クラス毎に考えてきた「平和宣言文」を学年全体で宣言したり、平和の歌「いのちのリレー」を学年合唱しました。



各クラスの代表者が、学年全体で「いのちのリレー」もつた平和の歌を宣言しました。

平和祈念公園では、みんなで平和を祈念して作った千羽鶴を奉納し、公園内をガイドさんと共に見学しました。



【平和の礎】戦争で亡くなられた方のお名前が碑の後ろにある沢山の石版に刻まれています。岡山県出身の方のお名前もありました。

ひめゆり資料館では、入り口近くにあるガマの説明をガイドさんから受けた後、それぞれ資料館の中を見学しました。



生徒たちの真剣なまなざしに学びの深さを感じます

入り口のガマでの祈りや資料館の中を見学することができました

琉球文化の象徴の一つである首里城を見学しました。2千円札にも描かれている「守禮之邦」を通って正殿へ。快晴の青い空に朱色が映え、本土とは異なる文化を感じていました。



ハイビスカスの花があちらこちらに植えられています



○沖縄のちょっとびっくり～沖縄のATMではお金を引き出すときに、守禮之邦が印刷されている2千円札「あり」、「なし」のボタンが表示されると聞きました。

2日目 基地問題&琉球文化体験～民泊

沖縄本島の北部にある本部町に向かう途中、嘉手納基地を一望できる「道の駅かでな」に寄りました。基地はとにかく広く軍用機や軍用車両を沢山見ることができました。私たちのバスが道の駅に着く直前に、偶然にも基地を離陸した戦闘機が、私たちの乗っているバスの上を急上昇で離陸していききました。耳をふさぐほどのものすごい爆音で、あっという間に3機が離陸しました。この爆音に生徒たちもとても驚いていました。



3機が次々と離陸していききました。バスの上空にいく頃には、かなりの高度まで上昇していききました。かなりのジェット噴射をするので大音量が響き渡ります。

26の受け入れ家庭の方との出会い、琉球文化を体験させて頂きました。琉球衣装を着せてもらったり、サーターアンダギーをみんなで作ったり、海につかって貝殻拾いを楽しんだり、ぐすくやま(城山)に登頂したり、ユリ祭りに連れて行ってもらったりと、各家庭で楽しい時間を過ごしました。沖縄の人の温かさに触れ、退村式でのみんなの顔はとても優しい表情でした。フェリーでの涙涙の別れが、民泊での楽しさを伺わせていました。

民泊アラカルト



360度周りが海を眺めたり、海につかって遊んだり、琉球料理を食べてもらったり、開催中のユリ祭りを見たり、高級な伊江牛の世話をさせてもらったりしました。

退村式&フェリー



本部港から伊江島に渡り、午後から入村式を行いました。入村式では、伊江島の踊りを、生徒たちと一緒に踊ってくださり、一気に親しみを覚えられました。

